

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	佐久コスモス福祉会 児童支援事業所どんぐり			
○保護者評価実施期間	令和7年2月25日		～	令和7年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数)	12人
○従業者評価実施期間	令和7年2月19日		～	令和7年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・現在、月曜から金曜の帯でどんぐりを利用されている方がほとんどであるため、日々子どもたちの変化にすぐ気づき、支援方法を日ごとに検討して継続的に支援することができています。	・前日の支援を振り返りながら、次の日に支援の有効であった点を職員間で共有した上で支援ができています。 ・ご家族とも毎日会うことができるので、子どものちょっとした変化や成長を共有して、ご家庭とも支援の統一が図れるようにしています。	・ご家族と話す機会は持てているものの、家族支援プログラムの提供や研修の提供までには至っていないので、開催を検討していきます。 ・どんぐり内の見学（家族サポート加算）は引き続き行い、どんぐりでの支援を、ご家族に見ていただく機会を増やしていきます。
2	・変化やイレギュラーに対応できる力を身に付ける為、あえて毎日違う日課や当番を提供することで、活動の変化で混乱してしまうことがない様に活動を組み立てています。	・初めての活動や活動の変更について、絵カードで提示/手順書での提示/全く予告しない状態で活動を試みるなど、子どもたちの成長段階に合わせて提示方法を変え、安心して活動にのれるよう配慮しながらも、変化に対応する力を身に付けられるよう支援しています。	・コロナ禍では、外出や外部の人を招いての行事はできていない状態でしたが、少しずつ新しい活動に取り組めるようになってきました。サンスポート佐久の運動教室やQBBの工場見学などを行う予定です。初めての活動にもチャレンジし、子どもたちが楽しく様々な活動に取り組めるようにしていきます。
3	・広い芝生の庭や畑が事業所内にある為、子どもたちがのびのびと自然に触れ合いながら活動することができています。	・芝生の庭を走り回ったり、タイヤ渡りや平均台を置くことで、体を大きく動かした運動を提供しています。 ・自分で収穫した野菜（トマト、枝豆、じゃがいも、大根等）を実際に食べる機会を設けることで、採りたての野菜の美味しさや収穫する楽しさを実感できる機会を提供しています。	・芝生の庭の他に、バスケットゴールやYバイク、ストライダー、キックスケーター、自転車に乗ることができるコンクリートの庭もある為、子どもたちの運動能力向上や発散の為に活用していきたいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流をする機会がありません。	・施設間が距離もあり、放課後デイサービスが土日の開所をしていないこともあり、現在交流が難しい状態にあります。	・まずは地域の施設（図書館やスーパー）などの利用から、地域の方々との交流を図ることを考えています。 ・また、公園に外出した際に地域の子も達と一緒にバスケットをして遊ぶなどの機会もあったので、そのような機会を逃さず交流を続けていきます。
2	・父母の会の活動支援や保護者会等を開催するといった、保護者同士やきょうだい同士で交流する場が設けられていません。	・現在、保護者同士やきょうだい同士で交流の場を設けることはできていない状況です。	・ご家族の方より要望があれば、開催を検討します。 ・きょうだい児同士の交流を図る機会は無いものの、事業所へ送迎に来た際にお話をするなどの交流を図っています。その他、きょうだいに関する個別の相談にも対応しています。
3			

公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
----	-------------------

事業所名	児童支援事業所　どんぐり	公表日	令和7年3月19日
------	--------------	-----	-----------

利用児童数　令和 7 年 3 月 1 日　12人　回収数　12人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12				・外には広い芝生なども広がっており、のびのび過ごせる場所であると思う。 ・活動スペース以上のスペースだと思います。	・今後も芝生や畑など広い空間を生かした活動を計画して行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	2			・人手不足は事業所に限らないですが、男性職員が少ない。 ・スタッフの人数も適切であり、日々様々な方が支援して下さっている。 ・配置数は常に確保されていると思います。	・4月より職員増員の予定です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12				・適切にされています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12				・室内は仕切られた部屋などもあり、子どもたちが落ち着いて過ごせる空間だと思う。 ・広い戸外スペースがあり、体を動かすことができるのがありがたい。 ・清潔で分かりやすい活動空間もあり、心地良いです。	・子どもたちの特性に応じた環境設定を行い、安心してよりよい環境で過ごせるようにしていきます。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12				・変化に対応できるよう日々違ったことを行ってくれるので、ありがたいです。 ・応じた支援がされていると思います。	・専門的支援計画を立て、今後も支援を行っていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12				・プログラムの内容と合った支援がされています。	・どんぐり独自の支援プログラムを作成しました。支援に変更がある場合には、更新していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12				・子どもの性格、特性などを理解した上で個別支援計画を作成して頂いている。 ・家庭と共有してくださり、理解して下さった支援だと思います。	・子どもたちや親御さんのお話をよく聞いて、放課後デイサービス計画を作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				・学校での支援会議の参加や定期的な保護者の懇談の場がある。 ・適切にされています。	・個別支援会議や移行支援会議への参加、定期的な相談の受付など今後も行っています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12				・適切にされています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				・活動が固定されないよう、子どもたちが飽きないように様々な工夫をしてくださっている。 ・色々なことを組み込んだ、成長に応じた取り組みだと思います。	・子どもたちの興味関心や、つけたい力に配慮した支援を組み立てていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	2	4	・他の子どもたちとの交流は難しい問題ということも理解している。 ・休みの時など交流されていて刺激になっています。	・長期休暇中の公園外出などを通して、地域のお子さん関わる機会をもてればと考えています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12				・適切にされています。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12				・段階を踏みながら本人の希望を尊重した計画を立てて頂き、また説明していただいている。 ・適切にされています。	・分かりやすい説明を行えるように努めます。ご質問、ご意見があればすぐにお伝え下さい。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	5		3	・家族が参加できる研修会や情報提供の機会があったらいいと思います。 ・常に情報を共有していただき、放デイでの様子が家庭でも勉強になります。	・障害特性に応じた支援方法についての研修を検討中です。 ・情報提供に関しては、必要に応じて個々に対応できればと考えています。

保 護 者 へ の 説 明 等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12				・日々の様子や何かトラブルがあった時や体調面なども丁寧に連絡をしていただいている。	・日々のお子さんの様子を、送迎時やサービス提供記録を活用してに共有していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12				・適切にされています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				・多くのサポートをしていただいている。 ・適切にされています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	5	3	・きょうだい児への相談はしてもらっている。 ・今後、そのような機会があればぜひ参加したい。 ・保護者の方とお迎えの時などに話せたらよいのですが、なかなかできていないので機会があれば希望したいです。	・きょうだい児に関する相談支援を今後も行っていきます。 ・交流の場の開催については、今後どのような方法がいいか検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12				・相談やお願いをすぐに対応していただけるのでとてもありがたいです。 ・子ども本人や家族での困りごとや相談にも迅速に対応していただいている。 ・常に共有させていただき、適切に対応されています。 ※未記入 1 件	・送迎時に困りごとや最近の様子についてお話ができているので、今後も詳細な引継ぎが行えるようにしていきます。 ・個別の面談や相談にも対応します。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				・適切にされています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11			1	・紙面のお便り等で情報や日々の様子もらせていただいている。	・季刊でどんぐり通信を発行していきます。
非 常 時 等 の 対 応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11				・適切にされています。	
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12				・適切にされています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12				・定期的に避難訓練などが実施されている。 ・避難訓練後の保護者への引き渡しについても、出来る範囲でやってみたらどうか？（保護者もいざという時にどこへ迎えに行けばいいかわからないといけないと思うので…）	・引き渡し訓練につきましては、いただいたご意見をもとに、今後の避難訓練の方法を検討していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12				・適切にされています。	
満 足 度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12				・適切にされています。	
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12				・わが子は安心して通所させていただいている。 ・「遅く迎えに来て」と言われる程です。 ・子どもの安心感と意欲を引き出して下さる場で、母子ともに安心しています。	・今後も子どもたちが安心して楽しんで通える場でいられるよう、尽力していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				・常に活動を楽しみにしていて、出来ることが沢山増え、本人も楽しく過ごしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				・統一した支援をして頂き、子どもを安心して通わせることができています。 ・たくさんの支援、サポートをしていただきとても満足している。 ・母子ともに安心して利用させていただき、ありがたく感謝しております。	・日々の支援に対するご理解とご協力ありがとうございます。今後も子どもとご家族を大切に支援に取り組んでいきたいと思っております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		佐久コスモス福祉会 児童支援事業所どんぐり		公表日 令和7年3月19日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・小学生と養護学校生に分けて支援ができています。いくつかある個室を、活動内容やメンバーによって分けて、使用できています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		・専門的支援を行うための配置ができています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・日々の清掃をしっかりと行っています。パーテーションを使用し、活動に合わせて環境調整を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日清掃や消毒を行い、心地よく過ごせる環境づくりを心がけています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・クールダウンの際など、部屋を分けて使用することができるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・全職員参加のスタッフ会議（毎月1回）を活用しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・年1回アンケートを実施し、スタッフ会議で結果を共有し、よりよい支援の検討をしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		・第三者による外部評価は実施できていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・5領域を含む支援、応用行動分析の考え方、虐待防止についての研修を実施しました。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・どんぐり独自の支援プログラムを作成、公表しました。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・3か月ごとのモニタリングを行い、保護者の方とも直接お話ししながら計画作成を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・事業所内でモニタリング会議を行い、子どもの日々の様子について共通理解を深められるようにしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・スタッフ会議で、放課後等デイサービス計画について詳細を共有した上で、支援に携わることができています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・日々の細かな行動観察により、子どもの適応行動の状況を日々記録をとり確認しています。	・フォーマルなアセスメントツールに関しては、どんぐりで使用するのに適切なものを検討中です。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・ガイドラインにおけるねらいや支援方法を踏まえながら、その子にあった支援内容を立案しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・個別の支援目標から、活動内容を検討することができています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・いつも同じプログラムだとこだわりや飽きにつながるので、適宜内容に変化をつけて行っています。	

14	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・ 静の活動と動の活動というメリハリにも気を配って、活動設定を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・ 連絡会を実施しています。前日の様子もここで再確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・ 業務日誌や所内連絡帳を活用し、その日いなかった職員にも情報共有が図れるようにしています。	・ 支援終了後に全員で集まり話す機会は持ていませんが、口頭での報告により、その日のうちに課題点は共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・ 課題に応じて排泄や泣きなどの記録を取り、支援に生かしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・ 3か月ごとに様子まとめを行い、計画作成の前にはモニタリング会議を実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		・ 自立に向けた支援や創作活動、余暇の提供などの支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・ 活動をあらかじめ複数用意しておき、自ら好きな活動を選択できるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・ 児童発達支援管理責任者や支援担当者が出席できています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・ 特別支援コーディネーターを通して、学級担任との連携が密にとれています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・ 移行支援会議や実際に保育園を見学させていただくことで、情報共有をすることができています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・ 移行支援会議へ出席し、個別支援計画について説明し、卒業後の移行先へ放デイでの取り組みを伝えています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		・ 佐久市の療育センターでの研修の開催が無いということもあり、助言などを受ける機会がもてていません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	・ 公園へ出かけた際、地域の子どもと一緒に遊ぶことはあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		・ 佐久市事業所連絡会へ参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・ 日常的に良いことやうまくいかないことを、保護者の方とお話することができています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		・ 個々に応じた情報提供はその都度行っています。家族支援プログラムの開催には至っておらず、機会が設けられるよう検討します。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・ ご家族の方に書面を見せながら、説明することができています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・ きょうだい児の相談も含めた子育てに関する相談を受ける機会が増えており、個々に相談に応じています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6		・保護者会はご利用家庭からの希望があれば、開催を検討します。現在は実施していません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・所長へ報告し、対応を検討した上で迅速に対応するようにしています。また、対応をスタッフ間で共有しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・「どんぐり通信」を季刊で配布しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・通信における写真の利用など、保護者の方に許可を頂いた上で掲載しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・絵カードや写真カード、PECS等を活用し、子どもたちの意思確認をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		・以前は、事業所で餅つきなどの行事をやっていましたが、コロナ禍を経て現在はできていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・年3回の避難訓練を行っています。	・事前に災害が想定される場合には、閉所となります。開所中に災害が起きた場合には、安全を確保し帰所対応になります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・親御さんより詳細な聞き取りを行い、職員間で共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・現在1名の方の食物アレルギーの対応をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	・設備の点検を月1回行っています。	・子どもの安全が確保できるよう日々の支援の中でもチェックを行い、改善していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・事前指導や避難訓練の実施報告など、保護者の方へ、その都度周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットしたことは、月1回のスタッフ会議で全スタッフと共有し、支援方法を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置し、会議を年1回以上、虐待防止研修を年1回行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・身体拘束については、虐待防止・身体拘束適正化委員会で十分に検討しています。支援の仕方は個別支援計画へ記載しています。	